

TEACH

TRANSNATIONAL EUROPEAN AND EAST ASIAN CULTURE AND HISTORY



筑波大学
University of Tsukuba

KOREA
UNIVERSITY

TEACH

Transnational European and East Asian Culture and History

日独韓共同修士プログラム

JAPAN×GERMANY×KOREA



LIBERTAS
JUSTITIA
VERITAS



筑波大学
University of Tsukuba



筑波大学
University of Tsukuba

TEACH

Transnational European and East Asian Culture and History

日独韓共同修士プログラム

TEACHとは

TEACH (Transnational European and East Asian Culture and History) とは、筑波大学と、ドイツのボン大学、そして韓国の高麗大学の3大学が共同で運営する人文社会科学分野の修士課程大学院生のためのオプションプログラムです。TEACHでは、所属大学(ホーム校)に加えて、参加しているいずれかの大学(第一ホスト校)へ修士論文を提出することでダブルディグリー(修士号+第二修士号)を取得することができます。TEACHに参加した学生は、入学直後の第一学期はホーム校で授業を受け、その後学期毎に3大学を渡り鳥のように移動します。3大学の学生が一堂に会して同じキャンパスで学び、議論し、論文を書くことを通じて、一般的な大学院の修士課程/博士前期課程では得られないダイナミックな経験やユニークな視点を得ることができます。

TEACHの目指す人間像

TEACHは、高い語学力と異文化間の交渉力を備え、自文化を相対化して批判的に捉える能力を持ち、広い知識と深い洞察力と発信力を備えた人材の養成を目的としています。TEACHは、英語能力に特化したいいわゆる「国際人」を育てるのでもなければ、ドイツ専門家や韓国スペシャリストを育てるのでもありません。TEACHの学生が目指すのは、アジアをよく知るヨーロッパ・スペシャリストであり、またヨーロッパを知悉するアジア専門家です。そうした「日韓、日欧関係のスペシャリスト」たちは、学位取得後、各国の政治・経済関連のさまざまな分野や、報道・メディアを含む企業の国際担当部署などで活躍することが期待されています。もちろん、さらに博士後期課程に進学して研究者を目指すこともできます。



	筑波大学の学生	高麗大学の学生	ボン大学の学生
1年次 春学期	筑波大学 (ホーム校)	高麗大学 (ホーム校)	未入学
1年次 秋学期	ボン大学	ボン大学	ボン大学 (ホーム校)
2年次 春学期	筑波大学 (ホーム校)	筑波大学	筑波大学
2年次 秋学期	高麗大学	高麗大学 (ホーム校)	高麗大学
	修了		ボン大学 (ホーム校)

ダブルディグリー
Double Degree

ホーム校

+

第二修士号
取得希望大学
(第一ホスト校)

カリキュラム

TEACHの授業は、3つのコア・カリキュラム科目により構成されます。授業での使用言語は、開講大学にて使用されている言語（それぞれ日本語、ドイツ語、韓国語）、または英語とします。

TEACHのコア・カリキュラムは、欧州単位互換制度による90ECTS（本学27単位相当）のカリキュラムから成っています。TEACH学生は、全員がTEACHの提供する以下の科目を3大学それぞれで3単位ずつ履修します。

TEACHのコア・カリキュラム(27単位)

● 専門外国語演習(9単位)

すべてのTEACH学生は、所属機関における言語に加え、協定校における言語のスキルも身につけていかなければなりません。特に第一ホスト校で用いられる言語に関しては、アカデミックな議論ができる高いレベルに到達することが求められます。第二ホスト校の言語は入門からの履修でもかまいません。

● 地域研究(9単位)

日本、韓国、ドイツのほか、東アジアやヨーロッパに関する歴史、文化、政治、社会を詳しく学ぶ授業です。学期毎に訪れる各大学によって提供される地域研究のカテゴリーから、比較的自由に授業を選択することができます。

● ジョイント・リサーチ・セミナー(9単位)

すべての参加大学のTEACH担当教員により、共同で準備され開講される、TEACH学生を対象とするセミナーです。このセミナーは、主に国際関係や比較文化学をテーマとし、研究の方法論や現地調査について学ぶセミナーです。また、各自の研究テーマに関する発表を行い、専門分野が異なるTEACHメンバーたちと意見交換をする場となります。学期末には、第二修士論文で用いる外国語でのレポート提出課題が課されるなど、外国語で修士論文を執筆する準備をしていきます。



筑波大学が認定する専門科目

筑波大学から学位取得を目指す学生は、コア・カリキュラムに加え、筑波大学での修了要件を満たすために、所属学位プログラムの必修科目を履修する必要があります。この科目はTsukuba Subjectに当てはまるもので、3~5単位分履修します。

2つの修士論文

TEACH学生は、TEACHの対象である「日独韓」という文化圏と、自身の専門分野との接点となる領域の中から、指導教員の指導のもと、自由にテーマを選んで修士論文を執筆することになります。ホーム校に第一修士論文を、第一ホスト校に第二修士論文を提出します。その際、使用言語は各大学の公用語を用います。2言語による2つの修士論文の執筆に向け、1年目からホーム校と第一ホスト校双方の指導教員による、入念な指導を受けます。

入学に向けて

選考の流れ

TEACHに参加するためには、筑波大学人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群のTEACHに参加している「学位プログラム」の入学試験に合格する必要があります。「学位プログラム」へ入学が決定した後、ボン大学または高麗大学との面接試験を経て、TEACHへの参加が決定します。

TEACHへの参加を希望される方は、出願前に必ずTEACH事務局までご連絡ください。

対象学生

TEACHに筑波大学から出願する場合、以下の条件を満たしていることが必要です。

- 学士号(BA)を取得していること(卒業見込みを含む)。
- ドイツ語または韓国語のいずれかの言語が既習で、入学後短期間でボン大学または高麗大学で学修を始められ、また論文を書ける語学力があること(当初はもう一つの言語はできなくても大丈夫です)。

定員は1学年につき各大学から5名(合計15名)です。

費用について

入学金及び授業料は筑波大学に納付することで、ボン大学と高麗大学の授業料は免除されます。ただし渡航費、生活費(現地滞在費)、外国での医療保険・傷害保険などは各自の負担となります。また、年度ごとに奨学金の有無が異なるため、最新の情報に関してはTEACH事務局へお問い合わせください。



○過去の修士論文テーマ一覧

文化

- 文学という鏡に映し出される在日コリアン像
—家庭環境が影響するエスニックアイデンティティ形成をめぐって—
- 多和田葉子の作品における女性像(かかとをなくして)
- フリードリヒ・シラーの美学思想 —『哲学的書簡』における自然観に関する研究—

社会

- ニューパブリックディプロマシーから見た日本の対外文化政策
—「ジャポニスム2018」の分析をもとに—
- ドイツにおける移民統合の考察 —ジェンダーの視点からみた移民文化と統合の関係—
- グローバル化における人材ビジネスの可能性 —ドイツにおける日本企業の人材—

歴史

- 平和のための歴史教育、平和祈念館
- 18世紀後半のハプスブルク君主国における叙爵・陞爵官吏と身分制
- 戦後日本の公民教育と西ドイツの政治教育に見る「民主主義」



筑波大学
University of Tsukuba

お問い合わせ先

TEACH ウェブサイト：<https://teach.hass.tsukuba.ac.jp/>

TEACH 事務局メールアドレス：teach.tsukuba.iajs@japan.tsukuba.ac.jp